

中学校保健体育科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 【例】		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	図A	かがみ跳び	またぎ跳び もよい。	各 3 × 2	
		図B	そり跳び			
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・踏み切り前3～4歩からリズムアップして踏み切りに移ること。 ・踏み切りでは上体を起こすこと。 ・踏み切りでは地面を踏みつけるようにキックすること。 ・振り上げ脚を素早く引き上げること。 		3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 3	
	(1)	(a)	40		各 3 × 3	
		(b)	50			
(c)		踏切板				
3	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・踏切線の延長線より先でも手前でも、踏切板の両端よりも外側から踏切った時。 ・助走あるいは跳躍動作中に宙返りのようなフォームを使った時。 ・踏切後、着地場所への最初の接触前に助走路あるいは助走路外の地面あるいは着地場所の外側の部分に触れた場合。 ・着地の際、砂に残った最も近い痕跡よりも踏切線に近い砂場の外の境界線または地面に触れた時。 ・日本陸上競技連盟競技規則第185条2に定める以外の方法で着地場所を離れた場合。 		3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 3	
2	1	(1)	運動やスポーツの課題を解決するための合理的な体の動かし方を技術といい、競技などの対戦相手との競争において、技術を選択する際の方針を戦術という。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
			よい動き方を見付けること。		順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 3
		(2)	合理的な練習の目標や計画を立てること。			
		実行した技術や戦術がうまくできたかを確認すること。				
2		<ul style="list-style-type: none"> ・達成感を得ることができる。 ・自己の能力に対する自信をもつことができる。 ・物事に積極的に取り組む意欲の向上が期待できる。 ・ストレスを解消したりリラックスしたりすることができる。 ・自分の感情のコントロールができるようになる。 ・社会性を高める。 		3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 3	

36

33

中学校保健体育科採点基準

3枚のうち2

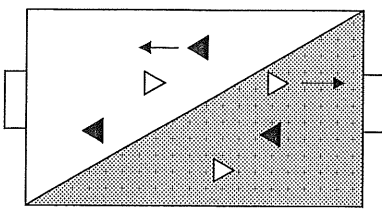
【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点
3	1	(a) 合理的		各 3 × 2
		(b) 知識		
	2	(2) 少なくとも一つの運動やスポーツに親しむことができるようにすることを目指し、第3学年では、自己に適した運動の経験を通して、義務教育の修了段階においての「生涯にわたって運動を豊かに実践する」ための基礎となる知識や技術を身に付け、選択した運動種目等での運動実践を深めることができるようにすること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
		2	練習や発表を円滑に進めることにつながることや、さらには、社会生活を過ごす上での必要な責任感を育てることにつながる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。
	3	(a) 発育		各 3 × 7
		(b) 個人差		
		(c) 内分泌		
		(d) 知的		
		(e) 生活経験		
		(f) 自己		
(g) 欲求				
4	1	(1) ・カルシウムを摂取する。 ・ビタミンDを摂取する。 ・ビタミンKを摂取する。 ・マグネシウムを摂取する。 ・ビタミンCを摂取する。 ・亜鉛を摂取する。 ・タンパク質を摂取する。 ・リンの過剰摂取を避ける。	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 2
		(2) 卵胞ホルモン	エストロゲン もよい。	3
	2	消毒や殺菌等により発生源をなくすこと。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	9
		周囲の環境を衛生的に保つことにより、感染経路を遮断すること。		
		栄養状態を良好にしたり、予防接種の実施により免疫を付けたりするなど身体の抵抗力を高めること。		

中学校保健体育科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点
5	1	(1)	大内刈り		3
		(2)	「取」の生徒が、「受」の生徒の右袖を引き上げてしっかりと受け身を取らせること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	2	投げ技の基本となる技	「取」(技をかける人)と「受」(技を受ける人)の双方が比較的安定して投げたり、受けたりすることのできる技。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 6 × 3
		得意技	自己の技能・体力の程度に応じて最も技をかけやすく、相手から効率的に一本を取ることができる技。		
		連絡技	技をかけたときに、相手の防御に応じて、さらに効率よく相手を投げたり抑えたりするためにかける技。		
6	1	体への気付き。		順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 3
		体の調整。			
		仲間との交流。			
	2	動きを持続する能力を高めること。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	4
3	測定項目の運動のみを行ったり、測定値の向上のために過度な競争をおったりすることがないようにすること。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6	
7	運動種目名	サッカー		バスケットボール、ハンドボールもよい。	2
	簡易ゲームの指導の工夫	<p>3対3のミニゲームを行うこととする。体育館にコートを作り、ボールの代わりにビニールで包んだクッションを使用する。また、コートを図のように対角線で分割し、生徒が移動できる範囲を制限する。</p>  <p>矢印は攻撃の方向を示している。</p>		簡易ゲームの指導の工夫と、簡易ゲームの指導の工夫の意図がともに合っているものだけを正答とする。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	2 4
	簡易ゲームの指導の工夫の意図	<ul style="list-style-type: none"> 3対3のミニゲームを行うことにより、ゲームの中での生徒の接球数を増加させることができる。 体育館にコートを作り、ボールをビニールで包んだクッションに変えることによりボールがバウンドしなくなり、ボールを受ける技能の低い生徒も、攻防に参加することができる。 コートを分割し生徒の移動範囲を制限することにより、攻撃において2対1の場面を作り出すことができ、技能の格差を緩和するとともに、攻防のポジショニングを考えやすくすることができる。 			